学校だより

令和3年度小川中学校
令和3年9月27日　発行
NO，6　文責：小林　浩一

＜校長講話より　9/１５＞

先日、9月５日　東京オリンピック　パラリンピックが閉幕しました。7月 23 日の開会式から１ヶ月半の期間、アスリートの活躍する様子を多くのメディアが連日報道していました。日本選手の活躍に一喜一憂する国民が多かったと思います。私もその一人です。みなさんはどうでしたか。

１３年ぶりに競技種目に復活したソフトボール。オリンピック種目に復活させたいと願って地道に活動していた姿があっただけに、日本が見事に金メダルを獲得できたことはうれしかったです。

男子サッカー、メキシコオリンピック以来のメダルを目指していました。３位決定戦でメキシコに敗れ、メダル獲得はなりませんでした。ピッチ上で、声をあげて泣く久保選手の姿が今でも目に焼き付いています。

車イスラグビー、パラスポーツ随一の激しいスポーツで、車いす同士がぶつかるタックルが認められている競技です。また、男性選手に交じって、女性選手の出場が認められています。日本テームでは、倉橋　香衣（かえ）選手が活躍していました。

車イスバスケ、男子は、今までメダルを獲得したことはなく、外国勢の高さとパワーに屈してきました。これに対抗するため、スピードと緻密な戦略を練り上げ、決勝に進出しました。最終クオーター途中まで、５点差をつけリードしていましたが、最後はアメリカの猛攻にあい、惜しく銀メダルとなりました。鳥海選手の活躍が印象に残っています。

大会が閉幕して 10 日経ちましたが、アスリートの活躍する姿から私たちは、「すごい」「メダルをとった選手が涙する姿から、様々な苦労があったんだろうな」と感動し、「選手だってあれだけ頑張っている。私だってやればできる」と勇気をもらい、「よし、オリンピック選手に負けないように私もがんばるぞ」と元気をもらいました。他にも多くのことを感じ取った事でしょう。

スポーツの持つ力が　多くの人の生き方に大きな影響を与えていることを改めて実感しています。

ここで、突然ですが、「あなたは、どのような夢を持っていますか」「ぼくの夢はこれです」と答えられる人もいると思いますし、すぐに答えられない人もいるはずです。

今回のオリンピックに出場した選手も学生のころ夢を持っていました。紹介する作文がこれです。卓球の伊藤美誠選手の卒業文集です

伊藤選手は卒業文集で「オリンピックに出て優勝したい」と記していました。２０１２年ロンドン五輪を現地で観戦。女子団体が銀メダルを獲得した瞬間を目の前で見ていたそうで、「それを見て、私は２０１６年には出場して、２０２０年には団体優勝、個人戦で優勝したいと思いました」とつづっています。

１５歳だった２０１６年リオ五輪では出場どころか、団体で史上最年少のメダリストとなりました。そして、今大会、男女混合ダブルスで水谷選手とペアを組み「五輪で優勝」の目標を成し遂げました。さらに、女子シングルス、女子団体でもメダルを獲得しました。

オリンピックに出場した選手の多くは、「金メダルをとりたい」「世界一になる」など自分が取り組んでいる競技のトップに立ちたいという夢があったと思います。この大会に至るまで、厳しいトレーニングに取り組んできたについては、みなさんも想像できると思います。

多くのアスリートの姿から、私は、夢は叶うものではなく、叶えるもの　なんだということを強く感じました。

そこで、先ほどの質問にもどります。「あなたの夢は何ですか」

「夢を持つ」ということは、自分がどこを目指しているかを明確にすることです。例えば、部活動で県大会に出場したいと決めることで、モチベーションや姿勢に大きな影響を与えます。夢を持つことは、自分がどこに向かうか、どこに向かうつもりがあるかを確認することにもなります。

「夢を設定する」ということは、今まで漠然としていた理想の未来を具体的にすることです。逆に、夢を設定しないということは、漠然と考えている理想の未来は永遠にやってこない。漠然としているものが手に入ることはないからです。さらに漠然と考えているとその場に流されやすくなってしまう。３年生は、実感していると思いますが、何が何でもこの高校へ行きたいのと、まあ行ける高校に行ければでは、学習への取り組み方も大きく違ってくると思います。

今、夢を持っていないという人も安心してください。「あなたの夢は何ですか？」という質問したときに、「夢か・・・？」と夢を探し始めることになります。今まで考えていなかったことでも、自分に対して質問をすると脳がその答えを探し始めます。それが夢への第１歩です

夢を持つということは、自分が何かに向かっているということです。大切なのは、自分の未来を夢という形でまず決めてしまうということだと私は思います。そして、自分の夢を叶える行動を逆算し、今何をすべきか明確にすることが、夢の実現への近道となると思います。

オリンピックは４年に１回、アスリートはオリンピックから逆算して何をすべきかを考え、行動しているはずです。まずは、自分の夢を決める。皆さんの場合は、部活動の成績、進学先の高校、自分の取りたい資格、さらに就きたい職業などが考えられます。夢を決めることで、夢という車輪が動き出します。

夢は叶うものではなく、叶えるもの

～校長講話を聞いて～

僕は将来調理師になりたいと思っています。今日の話で、夢は叶うものではなく、「叶えるもの」と聞いて、将来の夢に近づけるように今から努力していきたいです。そのためにまずは、自分が行きたい高校に入学できるように勉強をしていきたいです。　～3年生男子生徒の感想より～

夏休みの作文で「なりたい大人」について考えたときや、進路について考えたときなど、夢について何度も考える機会があるけど、私は「常に笑っていたい」や「育ててくれている親に恩返しをしたい」などと漠然としたことしか考えてこなかったけど、ひとつ自分にとって重要な目標とか、就きたい職業などを決めて、それに向かっていきたいと思いました。夢を叶えたいです。　～3年生女子生徒の感想より～

私は、はっきりとした夢が決まっていないし、伊藤美誠選手のような立派な夢ではないですが、将来についてしっかりと考えていこうと思いました。

何をしたいのかまだわからないけど、よりよい将来にするために、とにかく一生懸命やるべきことをやっていこうと思いました。　～3年生女子生徒の感想より～

９月の行事より～若鷹祭に向けて～

＜生徒集会　若鷹祭進捗状況について　９月９日＞

若鷹祭まで登校日で２週間となった９日の生徒集会では、生徒会長さんや、役員のみなさんから若鷹祭の準備の状況や今後の予定、部活動発表への意気込みなどが発表されました。

その中で、開閉祭式セレモニー映像とカウントダウン、アーチ制作へは、全校生徒のみなさんに参加してもらいたいこと、代表ポスターが齊藤有さんの作品に、そしてテーマソングが Alexandros の「ワタリドリ」に決定したことが紹介されました。

【体育館での生徒集会】

【齊藤有さんの作品】

＜生活向上週間　９月１３日～９月１７日＞

【朝挨拶する役員のみなさん】

学校生活を心地よく過ごせるように、会員一人一人の生活意識の向上を図ることを目的に、評議・生活委員会と美化委員会が「第２回生活向上習慣」を企画してくれました。「挨拶」「掃除」「時間」の３点を行ってくれましたが、あいさつは前回に比べ、気持ちのよい返事が返ってくるようになってきたという感想を役員のみなさんから聞くことができました。

また、ノーチャイムデーが一週間続きましたが、声をかけ合い、授業に遅れることもなかったようです。掃除ではひざつき三度がけを目標に床を磨いてもらえたおかげで、１８日の PTA 作業では、ワックスがけをスムーズに行うことができました。気持ちのよい環境の中で生活することのよさが実感できたのではないでしょうか。

＜若鷹祭開閉祭式上映ビデオ予告編ポスター掲示される　９月１３日＞

昇降口に右のポスターが貼ってあります。役員のみなさんからは詳しい説明はないのですが、若鷹祭の開閉祭式で放映される内容についての予告編、コマーシャルポスターなのでしょう。主役は多分ポスター中央の「煌めきお」さん。配役は「悪魔三人組」、「生徒会長かぐや」などと書かれていて、どのような内容なのか興味がわいてきます。

このポスター、配役の紹介だけでなく、「小川中学校の生徒は煌を取り戻すことができるのか？」というキャッチコピーも入っていて、映画の予告編ポスターのようです。とてもよくできているなと感心しました。

【予告編ポスター】

＜新企画「ラジオ放送」始まる　９月１７日＞

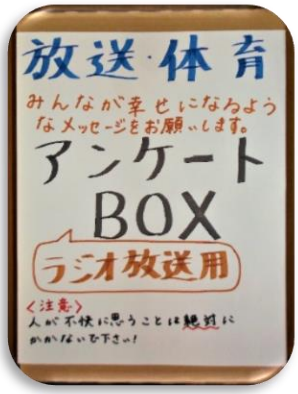
会員からのアンケートを基に DJ 風に放送する企画が放送・体育委員会の企画が週一回（金曜日）でスタートしましたが、その若鷹祭バージョンとも言える放送が連日行われています。

その中で、若鷹祭で楽しみにしていることは何ですか、という質問に、その日のゲストである、本部のみなさんは、学年発表、展示発表など他学年の学習の様子が楽しみですや、若鷹祭を通して全校の笑顔が見られることですなどの意見が出されました。

確かに、他学年の人がどのようなことを学び、どのように発表するのか、興味深いかもしれません。お互いの学びやその発表（表現）方法を知り、自分の学びにつなげていくことはとても意味深いものあります。

また、本部のみなさんにとって、一人一人が輝くような姿や笑顔を目指すのは、一人一人が活躍する生徒会を実現した一つの姿ですから、やはり気になるところだと思います。

部活動発表やクラス合唱、作文発表、開閉祭式など、若鷹祭のために練習を重ねてきているので、どのような発表になるのか、とても楽しみですね。



【ラジオ放送用 BOX】

＜ステージバック全校制作　９月１７日＞

ステージバック，アーチの全校制作を行いました。美化，園芸，保健・給食委員会を中心に制作分担を決め，全校分の手形を画面に入れる工夫などをしながらほぼ，仕上げることができました。事前に描かれたステージバックの惑星がよく描けていて，例年に比べ、完成度の高いステージバックができたと思います。全校の協力はもちろんですが、委員会ごとの下準備がきちんと行われていたと感じました。

【アーチへの手形押しの様子】

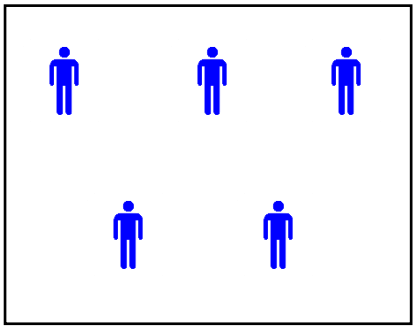
【協力して制作を進めました】

【ステージバック題字制作】

＜全校音楽集会　９月１日/８日/２２日＞

朝、放課後の教室や音楽室から各クラスの歌声が職員室にも響いてくるようになり，すでに学級の課題曲は完成しているのではと思わせるほどです。コロナ禍で制約がある中，（合唱時は同一方向を向き、距離を取る。飛沫がかからないように、前後に列を作る場合には、一歩ずらして前に人がいない状態をつくる。マスクを着用し、飛沫が飛ばないようにする。）などです。

音楽集会は、密を避けるためにパート練習の会場を分散しました。分散した会場でも距離を取り、向き合わない隊形で練習をしています。全体練習はパート練習と同様に距離、向きに気をつけています。



市松模様（交互に立つ）前後の距離を取る。（１．５M～２．０M）同一方向を向く。マスク着用

＜PTA 作業　９月１８日＞

台風の接近が気になる中、三連休の初日に行われた PTA 作業では、校内廊下のワックスがけ、池の掃除、体育館周りの床磨き、北校舎外側の草刈りなどを行っていただきました。

若鷹祭前にいつ参観されるみなさんを招いてもよい状態になりました。作業にあたっていただいた保護者の皆さまに感謝したいと思います。ありがとうございました。

【池の清掃作業の様子から】

＜２学年戸隠中学校との合同オンライン授業　９月９日＞

英語の時間に戸隠中学校とオンラインで授業を行いました。題材名は「わが町（村）の観光プランをおすすめしよう」でした。戸隠と小川村はどちらも観光地ですから、身近な題材として取り組めました。また、お互いのアイデアや英語表現のよさが参考になった授業でした。一昨年度から行っている山間地連携の授業でもありました。今後も他校との交流授業は継続して行って行く予定です。

【生徒の授業後の感想（グーグルフォームでの回答）より】

・かかわったことのない人しかいなかったけど、準備してきたことをしっかりと発表することができました。

・戸隠中学校との交流では、すごく楽しく交流ができたのでよかったです。知らないことがほとんどだったので、この機会に知ることができて、もっと知りたくなりました。

・戸隠中のいろいろな発表を聞くことができた。小川中の他のグループの人と練習で一回発表して課題を出し合い、手直しをした方がよいと思った。

・時間がかかってしまって、すべてのプレゼンを聞くことができなかったけど、楽しめたのでよかったです。

・どちらから始めるのかなどが難しかった。一つのグループとの時間が意外と短かった。いつもはかかわらない人と交流ができてよかった。

＜アン　ラトリッジ先生とのお別れの式　９月２７日＞

ラトリッジ先生とのお別れの式が行われました。ご家庭のご都合でご家庭のあるアメリカ合衆国に帰国されます。小川中学校では ALT の先生として英語の授業を中心に４年間お世話になりました。小川小学校でも英語を教えていただいていたので、全校のみなさん全員が４年間お世話になっています。

お別れの式では、校長先生からアン先生のご紹介とお礼の言葉、生徒代表として、副会長の松本悠真さんが英語でお礼とお別れのスピーチを行い、土屋美優さんから花束の贈呈、そしてアン先生からお別れの言葉を日本語でしていただいて、最後に全校での校歌を合唱し、アン先生のお見送りをしました。

ここで一旦お別れの式は行いましたが、新しい ALT の先生との引継ぎもあり、10 月中もしばらくの間は学校に来ていただけます。
お別れまでの時間は少しありますので、各自でお別れをしてください。

〈お知らせ〉

１．若鷹祭へは感染症対策を行った上でのご参観をお願いいたします。

昇降口には若鷹祭までのカウントダウンが、日数を書いた紙を持つ生徒写真で提示されています。若鷹祭まであとわずかとなりました。

さて、過日お知らせした、若鷹祭へのご案内において、長野県の警戒レベルが５の場合は、参観について再度お知らせすることとなっておりましたが、長野県の警戒レベルは現在４であり、県内の新規感染者数などから、今後は引き下げられることも見込まれます。

保護者のみなさまのご参観におきましては、事前の検温、手指の消毒または手洗い、マスクの着用等の感染対策を行った上で、ご参観ください。

２．１日小川②独居老人宅訪問活動の中止について

年間行事予定表にあります、上記の活動につきまして、コロナ禍の現状を鑑みまして今年度は中止とさせていただきます。ただし、「地域の良さを知り、積極的に地域や社会に貢献する気持ちを育てる」という目的のために、上記活動日に短時間、地域への清掃活動等のボランティア活動を行いたいと考えております。

３．制服登校と衣替え移行期間について

若鷹祭の服装は基本制服になります。10 月 2 日（土）は制服登校とします。若鷹祭の合唱時は、全学年 Y シャツとします。また、衣替え移行期間は 10 月 5 日（火）～8 日（金）とし、制服は Y シャツ、ブラウスは半袖、長袖どちらも可とします。

４．若鷹祭保護者控え室について

若鷹祭に一日を通してご参観される保護者のみなさまもおられると思います。その際、昼食場所として学習センターを控え室とさせていただきましたので、ご利用ください。

５．第二回資源回収、アルミ缶集めへのご協力ありがとうございます。

9 月 6 日（月）～17 日（金）まで行われた資源回収へのご協力ありがとうございました。回収結果は、新聞、雑誌類はコンテナ１台分、ダンボールはコンテナ２台分でした。また、生徒会では、ユニセフを通し諸外国の恵まれない子どもたちのために、アルミ缶回収を行っています。村内のみなさまにも、多くのアルミ缶を届けていただいており、感謝しております。現在、目標とする 300 kgまで、残り 50 kg程度となりました。引き続きご協力をお願いいたします。

６．ALT アン・ラトリッジ先生ご退職のお知らせ

４年間小川村の ALT として主に英語の授業を行っていただいていたアン・ラトリッジ先生がこの度、ご退職され、本国の合衆国へお帰りになることが決まりました。新たな ALT の先生をお迎えするのですが、しばらくの期間、新しい ALT の先生と一緒に英語学習を行うなど、引継ぎ期間を設けます。

期間は若鷹祭を含め 10 月中旬までお願いすることになっておりますのでお知らせいたします。